

広報

# おおの

祝  
開館



結とび

共に思いやり支え合う  
安全で安心なまち

5月号

平成24年(2012年) NO.801



## 結とびあオープン!





市民ホールの内観イメージ図

# 市庁舎整備基本設計まとまる

市庁舎等周辺整備の基本理念である「市民が集い・憩い・学ぶ」を実現し、市民に親しまれ、長く愛される庁舎を整備するため基本設計が完了しました。今後、この基本設計に基づき詳細な設計を行います。

## 目次

- P2 市庁舎整備基本設計まとまる
- P6 共に力を合わせてふるさとづくり
- P7 まちなか循環バス本格運行開始 / 運転免許自主返納支援
- P8 越前おおの健康づくり計画
- P9 基本健診・各種がん検診
- P10 越前おおの観光戦略プラン
- P11 越前おおの型 食・農業・農村ビジョン / 越前おおの食育推進計画
- P12 第48回越前大野名水マラソン など

## 結とびあオープン

保健・医療・福祉サービス拠点施設「結とびあ」として生まれ変わった多田記念大野有終会館。4月1日、関係者を含む約200人が出席して、開館記念式典が開かれました。式典後、開館を記念したところを結ぶ「絆」コンサートでは、車いすのピアノニスト山崎理恵さんの演奏や手話サークル「名水」と来場者の合唱が行われました。子育て支援センターなどの施設も開放され、親子連れなどでにぎわいました。

## 市ホームページ

<http://www.city.ono.fukui.jp/>

## 市ホームページ 携帯電話用サイト

<http://www.city.ono.fukui.jp/i/>



### 新しい市役所設計の 5つの基本方針

1. 市民に身近な庁舎
2. 「大野市の顔」としての庁舎
3. ひとにやさしい庁舎
4. 地球環境にやさしい庁舎
5. 災害に強く安全で  
安心な庁舎

### 設計の概要

建築面積 3,550平方メートル  
 延床面積 7,860平方メートル  
 構造 鉄骨造3階建て  
 概算工事費 33億円

### 外装の考え方

建物の外観は、三番通りから見た景観に配慮し、水平な屋根と水平に連続する窓を設置し、結とびあとの一体感や連続性を重視します。



外観イメージ図

**内装の考え方**

**1木の香る内部空間**

市内の豊富な森林資源を生かし、地元産木材を使用した温かく安らぎを感じる内装にします。

**2市民が集う心地よい空間**

市民ホールや待合の天井や壁は、明るい色調にします。

**3安全性に配慮**

角のない丸みのある仕上げやコーナークラッドを設置し、人と建物の両方を守る安全な内部空間に仕上げます。

**4将来の変更に対応**

事務室は、大きな空間とし、床はO.Aフロアを採用することで、将来のレイアウト変更にも対応できる造りにします。

**1階平面計画**

**1活動の交差点「市民ホール」**

市民の目を集ませるギャラリーや行政資料コーナーを設け、さまざまな展示により、市民が集い・憩い・学ぶ場とします。

**2結とびあとの接続**

結とびあとも多目的広場を南

北に「結通り」で結び、両施設の連携を高めます。

**3くつろぎの待合**

1階中央の待合は、自然の光があふれるゆったりとした明るい空間にします。

**4エレベーターも使いやすく**

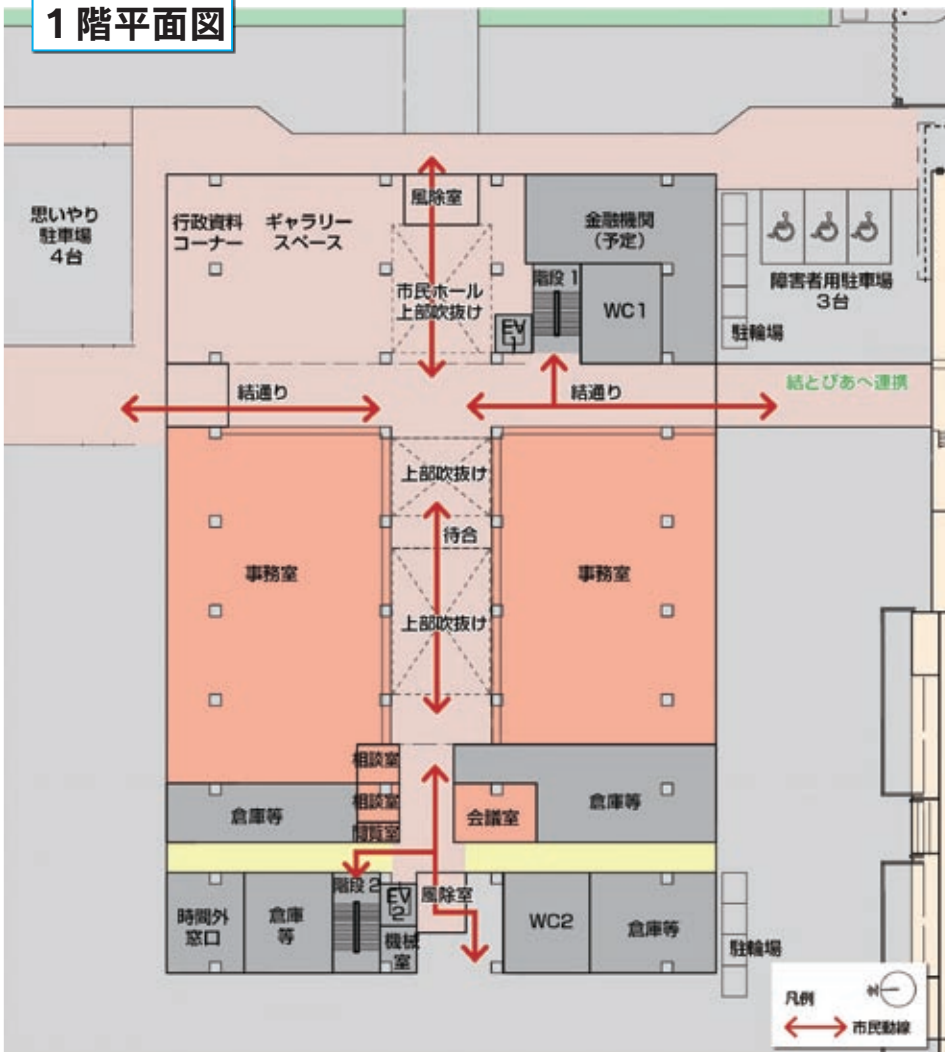
市民ホール近くに透明感のあるエレベーターを設置

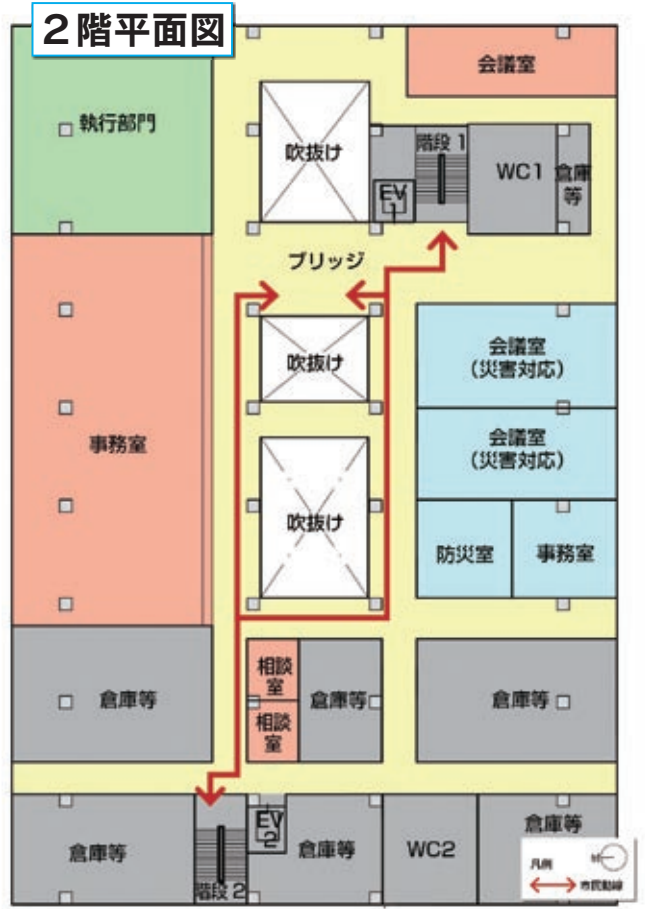
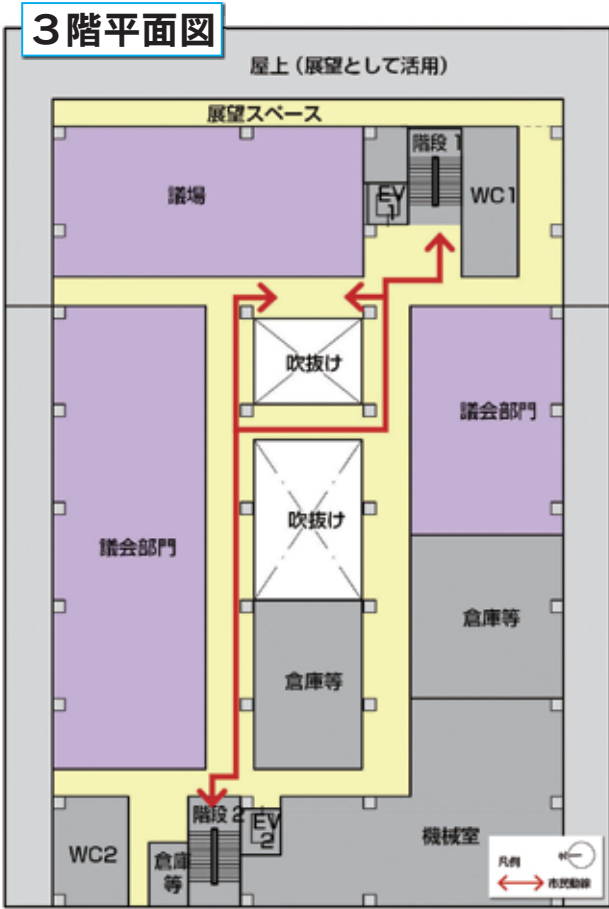
し、3階までの利便性を高めます。

**5利用しやすい配置**

市民の利用が多い部門を1階に配置し、特に利用度の高い課は、結通り近くに配置します。

**1階平面図**





**水平庇を周囲に**  
 水平な庇を建物外周部に設置し、来庁者を雨や雪から守り、建物の長寿命を図ります。

**防災拠点として**  
 災害に備え、3日間連続運転が可能な自家発電設備を設置します。災害対策本部を迅速に立ち上げることが出来る会議室を2階に設置します。建物の構造は、耐震安全性に考慮した鉄骨造を採用します。

**3階平面計画**  
 議場は、三番通り側とし、天井を高くし、光を取り込んだ空間とします。周囲には、バルコニーを設けて、市内が展望できるスペースを設置します。

**2階平面計画**  
 市民の利用が比較的に少ない部門を配置します。事務室は、1階と同様にカウンター方式を採用し、見通しの良い分かりやすい空間とします。

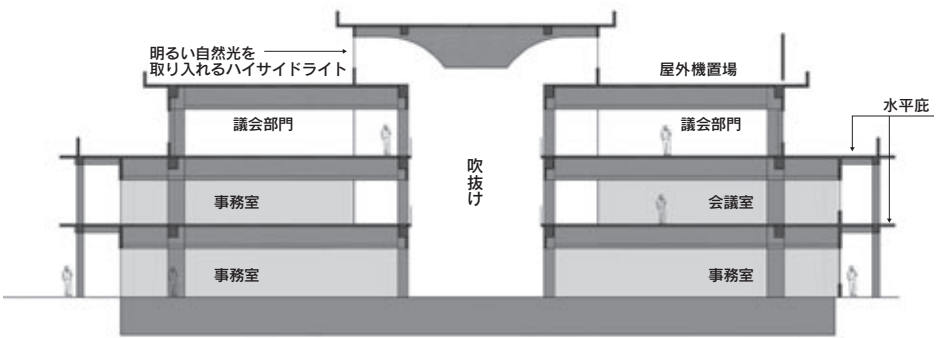
**人にやさしく**  
 誰もが利用しやすいような機能にも配慮します。  
 ・ 風除室には、車いすでも利用しやすい自動ドアを設置します  
 ・ 各出入口にはインターホンを設置し、歩行が困難な人を職員が案内します  
 ・ 窓口カウンターには、車いすの使用を考え、低い部分を設けます  
 ・ 健常者・障害のある人を問わず、誰でも使

**太陽光を発電に利用**  
 屋上に太陽光発電設備を設置し、発電した電気は、電気自動車の充電に活用します。

**雨水利用**  
 水資源対策の一環として、雨水をため、トイレの洗浄水に活用します。

**雨水利用**  
 水資源対策の一環として、雨水をため、トイレの洗浄水に活用します。

用でできる多目的トイレを設置します



**配置計画**

**「結びびあ」との連絡**

新庁舎と結びびあは、屋根付の廊下で接続します。雨や雪に濡れることなく、両施設が利用できるようになっています。

**だれにやさやっこ**

**アプローチ**

三番通りに面した正面には緑地を設け、ゆとりのある正面玄関とします。

北側には、市民用駐車場を設け、バスや徒歩で来庁する人と車の動線を分けて、市民の安全に配慮します。

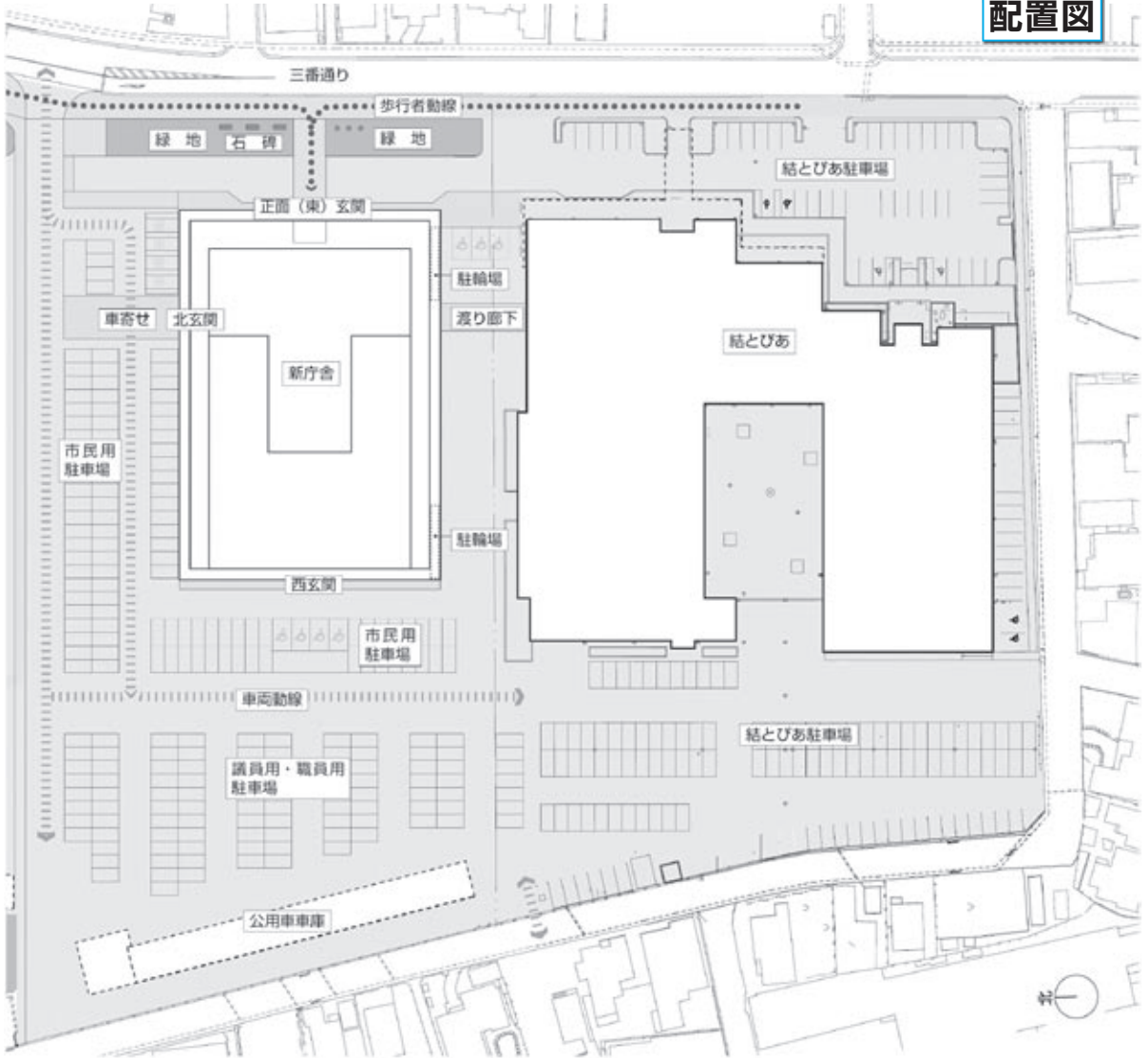
**使いやすい駐車場**

北玄関と西玄関前には、障害者用駐車場を含め、市民用駐車場をまとめて確保します。

西側は、結びびあのある駐車場と連携しイベントや防災対応が可能な駐車場とします。

庁舎整備課整備係  
☎ 66・11111内線401

**配置図**



**■ 整備スケジュール**

	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度以降
計画関係	多目的広場整備計画		管理・運営計画		
設計関係	基本設計	現在 実施設計			
整備関係			庁舎整備工事	周辺道路工事	現庁舎解体 多目的広場整備工事
管理運営方法の 検討・決定	市民利用・窓口・管理検討		管理・運営検討		

# 共に力を合わせて ふるさとづくり



第五次大野市総合計画の基本施策の一つ「共に力を合わせるふるさとづくり」の実現のため、平成23年度にスタートした市民協働推進提案事業と越前おおの元気創造事業。平成24年度の対象事業として採択された取り組みを紹介します。

## 市民協働推進

### 提案事業

市と市民活動団体などが協働し、市民サービスの向上を目指します。市民協働推進委員会の審査を受け、提案された四事業から二つの事業を採択しました。

### 旧大野郡周辺城址

#### 見取り図作成事業

【新規事業】

提案団体 小山荘歴史の会

内容 旧大野郡内にある城跡遺跡の概要を調査し、資料にまとめ発行する

効果 城跡周辺里山の環境保全、地域力の向上

市の役割 市が保有する歴史資料の提供、助言

期間 4月12日～平成25年3月31日

### 命の水を育む

#### 銀杏峰を癒しの森に

【新規事業】

提案団体 里山銀杏峰を愛する会

内容 銀杏峰周辺の里山保全と山頂付近の高山植物の保全

効果 銀杏峰山頂の貴重な高

山植物の保護活動による市民の環境保全意識の向上

市の役割 高山植物の保護などについての情報の提供と発信

期間 5月上旬～12月

### 越前おおの

#### 元気創造事業

市民力・地域力をさらに向上させるため、市民が自ら企画する事業の支援をします。



### 第参陣

#### 越前おおの

#### とんちゃん祭

【継続事業】

実施団体 越前おおのとんちゃんを愛する会

内容 市内外のホルモン料理店

が結ステーションに終結し、とんちゃん日本一を競つ

期日 8月4日(土)・5日(日)

### 大野少年の翼Ⅳ

#### 「The Youth of the Wing Cup 2012」

【新規事業】

実施団体 大野青年会議所

内容 市内外の中学生サッカーチームやJリーグユースチームを招待したサッカー大会を開催。期間中、参加選手同士の交流会やJリーグ選手OB会のサッカークリニックも同時に開催。元Jリーグ選手による市民対象の講演会も実施

期日 8月31日(金)～9月3日(日)

市では、元気創造事業について、団体の自主的な企画・活動を支援するため、随時提案を募集しています。

☎ 総務課自治振興室

☎ 66・1111内線245

# まちなか循環バス・乗合タクシー

## 本格運行開始

平成21年10月から試験的に運行してきたまちなか循環バスと乗合タクシー。

今年の4月から本格運行を開始しました。本格運行後も利用状況などを確認しながら、利用しやすい運行内容になるよう見直しを行います。

## 見直した内容

### 1 運行便数と運行ルートの見直し

- ①利用の著しく少ない便を廃止しました
- ②まちなか循環バス運行ルートを一部見直しました  
・「大野警察署」から「あつ宝んど」の区間を廃止し、広域路線バス勝山大野線への利用転換

### 2 停留所の新設

まちなか循環バス、乗合タクシーの全路線に停留所「結とびあ」を新設するなど、停留所を新設しました。

### 3 まちなか循環バス

#### 回数券の導入

11枚づつ1,000円を車内で販売しますので、運転手に申し出てください。

「300円～500円」に改正。ただし、1便で2人以上(相乗り)の利用がある場合は、1人100円の割引。

### 4 乗合タクシー

#### 運賃の改正

「200円～400円」を

## 利用方法を

## 案内します

まちなか循環バスや乗合タクシー

クシの時刻表や利用方法が分からないときは、都市計画課に連絡してください。担当者が説明に行きます。老人クラブなどの団体や集落の集まりなどへも説明に伺います。

☎ 都市計画課計画景観係  
066・1111内線3522

## 「まちなか循環バス」愛称を募集

### ○募集する愛称

使用する文字は、漢字、ひらがな、カタカナとし、自作で未発表のものとし。他の著作権などに触れる場合は無効とします。

### ○応募方法

資格は問いません。1人3点までの応募とします。応募用紙に住所、氏名(ふりがな)、性別、年齢、電話番号、愛称と簡単な説明を記載して、都市計画課に持参するか郵送、電子メールで応募してください。電子メールで応募する場合、件名を「まちなか循環バス愛称応募」としてください。

※用紙は市役所1階総合案内、和泉支所、農林楽舎(城下町東広場内)、商工会議所、市観光協会、平成大野屋にあります。市ホームページからも入手できます。

### ○応募期間

5月1日(木)～31日(木)(当日消印有効) 結果は、ホームページなどで公表します。

### ○記念品の贈呈

愛称が採用された人には、記念品を贈呈します。

### ○その他

決定した愛称の著作権などは市に帰属します。全ての応募用紙は返却しません。応募者の個人情報、この用途以外の使用や外部への公表はしません。ただし、愛称が採用された人には、本人の同意を得た上で、氏名などを公表します。

☎ 都市計画課計画景観係 (☎66・1111 内線352)  
電子メール toshikei@city.fukui-ono.lg.jp

## 運転免許の自主返納を支援

### ～循環バス・乗合タクシー・市営バスを3年間無料に～

4月から、次の条件を満たす運転免許証自主返納者に対して、まちなか循環バスと乗合タクシー、市営バスの無料乗車券を交付します。

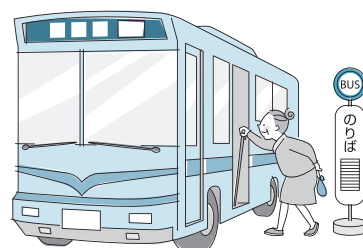
**対象** 市に住民登録または外国人登録のある満65歳以上で、平成23年4月1日以降に運転免許証を自主返納した人

**内容** まちなか循環バスと乗合タクシー、市営バスに3年間無料で乗車できます

**申請方法** 自主返納した日から1年以内に、運転免許取消通知書の写しと写真1枚(3センチ×2.5センチ)を添えてくらし環境課に申請する。ただし、平成23年4月1日から平成24年3月31日までに自主返納した人は、自主返納の翌日から1年3カ月以内に申請が必要

**利用方法** まちなか循環バスなどを下車するときに「大野市バス無料乗車券」を運転手に提示し、利用者の氏名を記入した「大野市バス無料利用券」を運転手に渡す

☎ くらし環境課市民生活係 (☎66・1111 内線291)



みんなので元気になるろう！

# 越前おおの健康づくり計画

市では、全ての市民が、元気で心豊かに、安心して暮らすことができるように、越前

おおの健康づくり計画「第2次健康おおの21」を策定しました。この計画では、「生涯現役、元気な大野人」を目指して、脳卒中、心疾患、がん、糖尿病などの生活習慣病の減少に向けて健康づくりの取り組みを推進します。計画期間は平成24年度から28年度の5年間です。

推進項目は「運動」、「食事」、「たばこ」、「休養・こころ」、「歯」を5本の柱として、具体的な目標数値を設定し、市医師会・市歯科医師会などの関係機関、団体と連携・協働して推進していきます。平成28年度までの目標を目指して、市民一人一人が力を合わせて取り組みましょう。

「健康おおの21」については、保健推進員による地域健康づくり事業や各種団体が実施する健康教室などに、保健師や管理栄養士が出向き集落

単位で説明会を実施します。希望がある場合は連絡してください。

健康長寿課健康づくり係

☎ 66・9931

## 1 運動「運動でいい汗を」

運動を習慣にする人を増やす	平成22年度 実績値	平成28年度 目標値
①週1回以上運動する人を増やす ※週に1回以上運動している人の割合	34.2%	40%以上
②適正体重の人を増やす ※体格指数が25以上(肥満)の人の割合	男 23.7% 女 19.9%	男 20%以下 女 19%以下
③メタボリックシンドロームを認知している人を増やす ※認知している人の割合	74.4%	80%以上

## 2 食事「野菜たっぷりで味付けは薄めに」

食事の取り方に配慮する人を増やす	平成22年度 実績値	平成28年度 目標値
①塩分摂取量を減らす ※塩分摂取量要改善者の割合	23.1%	23%以下
②甘い物を多く取る人を減らす ※甘い物を多く取る人の割合	34.4%	30%以下
③緑黄色野菜を毎日食べる人を増やす ※緑黄色野菜を毎日食べる人の割合	51.8%	52%以上
④栄養バランスに配慮した食生活を送る人を増やす ※栄養バランスに配慮した人の割合	—	60%以上

## 3 たばこ「禁煙で周りの人の健康も守りましょう」

禁煙、分煙を徹底し、タバコによる健康被害を少なくする	平成22年度 実績値	平成28年度 目標値
①成人の喫煙率を下げる ※成人の喫煙者の割合	男 28.6% 女 6.1%	男 25%以下 女 6%以下
②禁煙、分煙対策に取り組む施設を増やす ※公共の場における実施割合	公共施設・ 医療機関 100%	100%

## 4 休養・こころ

「休養でこころも体もリフレッシュ」

ストレスと上手に付き合い、こころの健康づくりを推進する	平成22年度 実績値	平成28年度 目標値
①最近1カ月でストレスを感じた人を減らす ※ストレスを感じた人の割合	40.5%	40%以下
②こころの健康に関する講座の回数を増やす ※講座の回数	8回 (市実施分)	10回以上

## 5 歯「60歳で24本以上の歯を」

高齢になっても自分の歯で食事ができる人を増やす	平成22年度 実績値	平成28年度 目標値
①55歳～64歳で残存歯が24本以上ある人を増やす ※歯が24本以上の人の割合	48.2% (55～64歳)	50%以上
②年に1回以上歯科検診を受ける人の割合を増やす ※歯科検診を受ける人の割合	15.9%	30%以上



# 5月15日から基本健診・各種がん検診が始まります

年に1度の健診は、自分の体を知るチャンスです。自分自身のため、家族のために健診を受けましょう。

## 特定年齢の人は無料で

次の年齢の人は、左の健診などが無料で受けられます。

- ・特定健診(受診券に無料と表示)

市国民健康保険加入者で、平成23年4月2日から平成24年4月1日までに40歳、45歳、50歳、55歳、60歳、65歳、70歳になった人

## 子宮がん検診

平成23年4月2日から平成24年4月1日までに20歳、25歳、30歳、35歳、40歳になった人

- ・乳がん検診・大腸がん検診・肝炎検査

平成23年4月2日から平成24年4月1日までに40歳、45歳、50歳、55歳、60歳になった人

## 受診券・クーポン券の発送時期

基本健診やがん検診の対象

になる人には、5月から各

地区の集団健診実施日に合わせて、順次受診券を郵送します。受診日まで大切に保管してください。※この

受診券は集団健診のほか個別で医療機関の受診ができます。ただし、4歳未満の人の基本健診は集団健診のみです。

子宮がん、乳がん、大腸がん検診を無料で受診することができる年齢の人には、5月中旬ごろ、別にクーポン券が届きます。

## 受診の注意

健診を受診するときは、必ず受診券を持参しましょう。乳がんの集団検診は、検診バスの都合で定員が1日45人になります。

4月1日以降に国民健康保険に加入し、健診を希望す

る40歳以上の人は、受診券を送りますので、市民課まで連絡してください。

## 日程と会場

健診の日程と会場は、本紙の市民カレンダーでお知らせします。

健康長寿課健康づくり係

☎66・0031

市民課保険年金係

☎66・1111 内線457



## 宝くじコミュニティ助成

市では、財団法人自治総合センターの助成を受けて、身体障害者用車いすリフト車を購入しました。市内の車いすが必要な障害者やお年寄りなどの機能回復訓練や通院などの移動手段として利用します。



# 越前おおの観光戦略プラン

平成19年3月に策定してから5年が経過した「越前おおの観光戦略プラン」。平成24年度からの5年間で計画期間とする新たなプランを策定しました。プランは、基本理念の下に五つの基本戦略と14の基本施策で構成されています。

## 基本理念

### ～磨き上げよう大野の宝、深めようふれあい交流を～

人、歴史、文化、伝統、自然環境、食などの「越前おおの」ならではの豊富な地域資源を「越前おおのブランド」としてさらに磨き上げ、人情味あふれるもてなしの心で、訪れる人とふれあいと交流を深めることで、観光客が何度も訪れる「越前おおの」を目指します。

## 基本戦略1 地域資源の魅力の向上

- 基本施策① 「越前おおの」の自然の魅力を磨く
- ② 「越前おおの」の歴史・文化の魅力を磨く
- ③ 「越前おおの」の食の魅力を磨く

## 基本戦略2 もてなしの心の醸成

- 基本施策④ 心地よくお迎えする「もてなしの心」の醸成
- ⑤ 心地よくお迎えするもてなし体制の整備
- ⑥ 心地よくお迎えするための環境づくり

## 基本戦略3 魅力の発信と情報の収集

- 基本施策⑦ 観光客ニーズの把握
- ⑧ 親切で分かりやすい情報の発信
- ⑨ 誘客宣伝活動の充実

## 基本戦略4 滞在型観光の推進

- 基本施策⑩ ゆっくり歩いて楽しめるまちなか観光の推進
- ⑪ 越前おおの型エコ・グリーンツーリズムの推進
- ⑫ 四季の魅力を生かした観光地づくり

## 基本戦略5 広域観光交流の拡大

- 基本施策⑬ 広域圏による観光の推進
- ⑭ ゆかりのある地域との観光交流の推進



蕨生里神楽



越前おおの冬物語



岩倉市さくらまつり

図 観光振興課観光企画係  
(☎66・1111 内線162)

## 農林樂舎と農業再生協議会が移転しました

市役所庁舎内にあった「一般財団法人 越前おおの農林樂舎」と「大野市農業再生協議会」が、4月から城下町東広場に移転しました。市農業再生協議会の事務(戸別補償制度など)を、越前おおの農林樂舎が担当することになりました。

所在地 大和町3番7号(城下町東広場内)

越前おおの農林樂舎 (☎66・1141 FAX66・1142)

農業再生協議会 (☎64・5562 64・5563)



# 「越前おおの型 食・農業・農村ビジョン」

## 基本理念 「越前おおの型農業」 の持続的発展

市では、これまで本市が持つ豊かな農地や自然から育まれる農産物を守り育てながら進める農業を、「越前おおの型農業」として農業施策を実施してきました。

今後は、これらを引き継ぎながら、食・農業・農村の状況に対応した施策を進め、農業者の所得向上につなげるとともに、農業・農村の活性化に向けた「越前おおの型農業」の持続的な発展を図っていきます。

多様な担い手の確保と育成に努め、農業収益を向上させ、畜産を振興するなど農業の振

**2 多様な経営体の共生による農業の振興**

**1 農業・農村の活性化**  
平成21年度に実施した農村集落カルテに基づいた施策を推進し、中山間地区の活性化、エコ・グリーンツーリズムの推進による農業と農村の活性化を図ります。

平成24年度から28年度まで5年間の農業施策の基本的な方向性を定めた「越前おおの型食・農業・農村ビジョン」を定めました。これは、平成19年3月に策定したビジョンを改訂したもので、基本理念と五つの基本方針を定めて、農業・農村の活性化と農業振興に取り組んでいきます。

**3 農産物の総ブランド化**  
環境調和型農業を推進し、大野産米のブランド化、特産作物の生産促進、加工開発や販路拡大で総ブランド化を図ります。

**4 農地の適正な管理と農業基盤の整備**  
耕作放棄地の発生防止など優良農地を確保することも、土地改良事業などの農業基盤を整備します。

**5 鳥獣被害のない里づくり**  
鳥獣被害の軽減対策や地域ぐるみでの対策を推進し、鳥獣被害のない里づくりを図ります。

図 農業農村振興課  
☎ 66・1111 内線311

## 越前おおの

## 食育推進計画

市では、平成19年3月に「越前おおの食育推進計画」を策定し、「食」についてのさまざまな取り組みを行ってきました。計画策定から5年が経過。「食育」の実践を促進し、心身の健康を維持するだけでなく、活力に満ちた地域社会、生涯現役社会の実現が求められています。

これまでの「食育」の推進成果と「食」の課題を踏まえ、平成24年度から28年度までの5年間の計画期間とする新しい食育推進計画を策定しました。

図 農業農村振興課  
☎ 66・1111 内線311



## 基本理念は「食守」

「食育」推進の担い手となる「市民、家庭、地域、学校、生産者、行政」などの「食」を守る者が、「食育」の推進によって「健康・身体、文化・伝統、環境、産業」などを「食」で守るという考え方を「食守(しょくもり)」と定義し、この「食守」を市独自の基本理念として「食育」を推進していきます。

## 「食守」推進の基本目標

- 1. 「みんなで食守! 笑顔でいただきます」運動の推進**  
市民一人一人が「食育」を考える機会を提供します
- 2. 規則正しい食生活習慣の定着**  
子どもから高齢者まで全ての人が、規則正しい食生活習慣を身に付けることができるような取り組みを実践します
- 3. 伝承料理などの食文化の普及と伝承**  
地産地消や子どもたちの体験交流事業を通して、伝承料理などの食文化の普及と伝承に取り組みます
- 4. 感謝の心を育む**  
自然や生産者に対する感謝の心や「食」を大切にする心を育てるとともに、自然環境の保全や環境調和型農業を推進します

# 第48回 5月27日日号砲 越前大野名水マラソン

## 交通規制にご協力を

下の図のとおり交通規制を行います。通行の際にご協力ください。

前回大会から会場とコースの変更に伴い、六間通りや三番通りの一部も通行止めになります。

## シャトルバスを運行

大会当日、会場の越前おおの結ステーションとエキサイト広場や奥越ふれあい公園の臨時駐車場で、シャトルバスを運行します。選手や応援する皆さんは、シャトルバスを利用し、余裕を持って早めに来場してください。

大会会場や学びの里「めいりん」には駐車できません。

行き 午前6時45分～8時15分

(選手受付時間は午前7時～8時30分)

帰り 午前10時～午後1時30分

実行委員会事務局(スポー  
ツ課内 ☎66・1111 内線  
531)

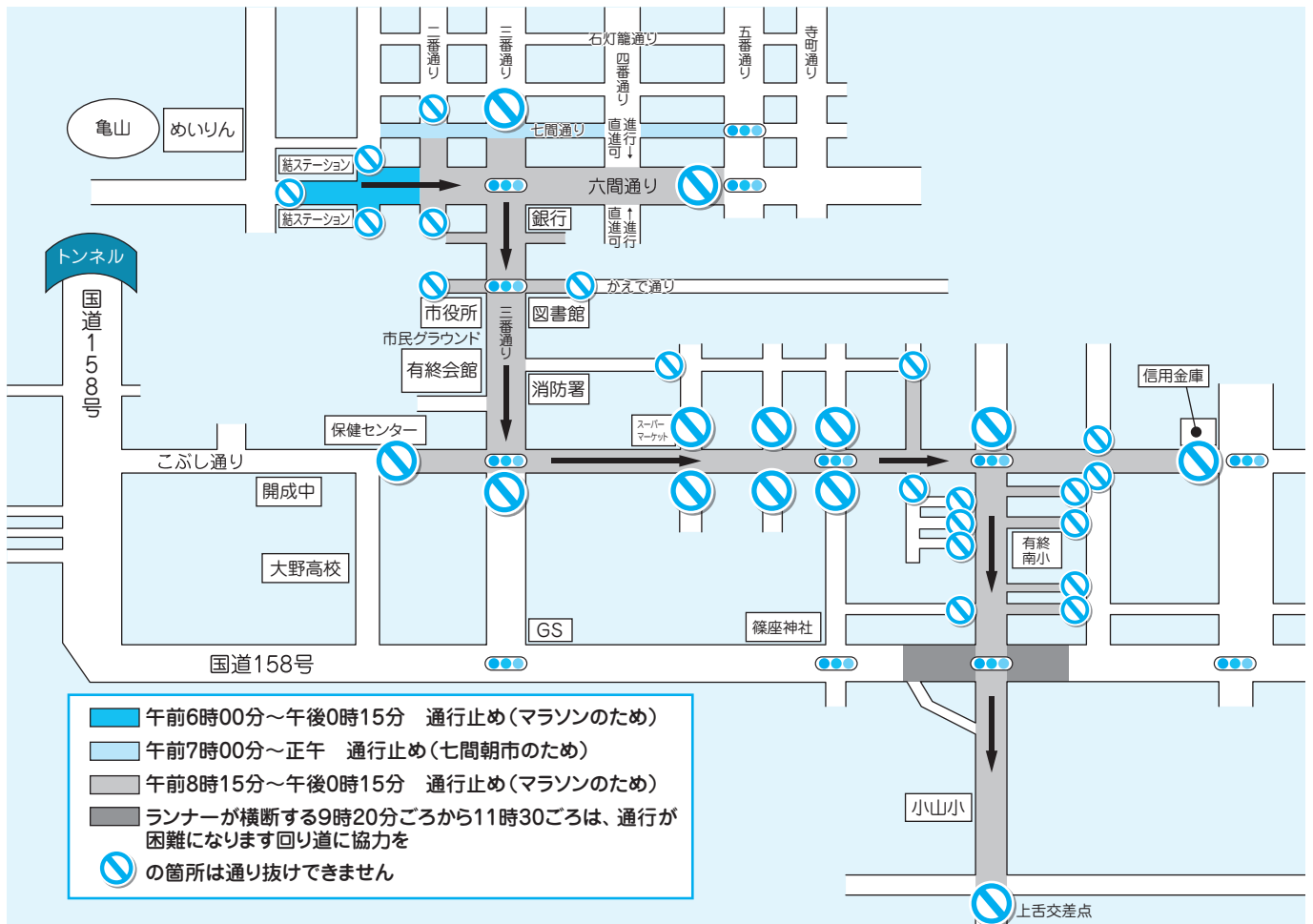
## まちなか循環バス一部運休

マラソン大会当日の午前中は、まちなか循環バスを運休します。午後からは、通常通り運行します。

都計画課計画景観係  
☎66・1111 内線352



## 大会当日 ご協力と沿道で声援を



# デジタル同報系防災行政無線 一部運用を開始

## 44カ所に設置済

市では、災害時の情報伝達手段として平成23年度からデジタル同報系防災行政無線の整備を進めています。整備が完了した屋外スピーカー44局で4月から運用を開始しました。最終的には114カ所のスピーカー局で、災害時の避難勧告などの重要な防災情報を素早く市内全域に放送します。平時時は市からの行政情報の放送に活用します。

## やまやまな

### 情報伝達手段

#### ① 確実に広域へ情報を伝達

避難所に指定している小学校や公園などに設置する屋外スピーカー局と公共施設などに設置する戸別受信機で、市内全域に迅速に情報を伝えます。音声放送やサイレンによる放送が広範囲で可能になり、一斉に災害情報や行政情報をお知らせすることができ

ます。

#### ② 最新機能で有効活用

音声合成装置を使った聞き取りやすい放送を行うほか、全国瞬時警報システム(J-ALERT)と連動し、国が発信する緊急地震速報やサイバー攻撃などの緊急情報を速やかに放送します。

#### ③ 和泉ケーブルネットとも連動

このシステムは、和泉地区の告知放送システムと連動し、地区全域に同じ情報を伝達することができます。

防災防犯課防災防犯係

☎ 66・1111 内線4622



設置場所		
1 学びの里「めいりん」	16 駅東公園	31 横枕地係
2 有終南小学校	17 中挾公園	32 堂本ふれあい会館
3 有終東小学校	18 資母郷公園 <small>しものさと</small>	33 友江生活改善センター
4 小山小学校	19 きよたぎ公園	34 中保集落センター
5 乾側小学校	20 中ノ堂公園	35 菖蒲池結和館
6 下庄小学校	21 東中公園	36 菖蒲池地区公園
7 上庄小学校	22 大橋水位観測所	37 犬山集落センター
8 阪谷小学校	23 泉町地係	38 鞆掛ふれあい会館
9 富田小学校	24 亀山集会所	39 上据ふれあい会館
10 開成中学校	25 上中野集会所	40 森政地頭生活改善センター
11 陽明中学校	26 西市白山神社	41 下郷公民館
12 上庄中学校	27 太田生活改善センター	42 中据生活改善センター
13 青少年教育センター	28 東大月ふれあい会館	43 下据生活改善センター
14 旧老人福祉センター	29 中津川ふれあい公園	44 吉公民館
15 亀山公園	30 南新在家集落センター	

# 市の人事異動と消防の機構改革

4月1日付けで、一部機構の見直しと総勢221人の人事異動を行いました。異動の内容は、部長級5人、課長級17人、課長補佐級28人、係長級45人、主査級62人、主事級40人、業務職員24人です。



## 部長級

▼秘書政策局長(兼)庁舎整備課長・田中雄一郎▼産業経済部長・羽田年也▼建設部長・佐子重夫▼議会事務局長・山村正人▼教育委員会事務局長・金子正義【県派遣職員の併任解除】長谷川雅人(産業経済部長)下村直人(建設部理事)

## 課長級

▼秘書政策局▼秘書課長・西川千鶴代▼行政戦略課長(兼)ブランド推進室長・加藤正幸▼情報広報課長・山田一郎▼総務部▼総務課長(兼)自治振興室長・國枝勢津子▼防災課長・南和弘▼市民福祉部▼くらし環境課長(兼)浄化センター所長・佐々木清一▼福祉(こども課長(兼)地域子育て支援センター所長・畑中

六太郎▼健康長寿課長(兼)保健センター所長・井川鋭子▼和泉診療所長・堀口昌克▼産業経済部▼産業振興課長(兼)中心市街地活性化室長(兼)ふるさと公園サンスポーツランド所長(兼)職業訓練センター所長・嶋田敏文▼観光振興課長・米津源一▼建設部▼建設課長(兼)湧水再生対策室長(兼)防雪基地管理棟管理者・砂村秀成▼幹線道路課長・末永勝土▼教育委員会事務局▼社会教育課長(兼)視聴覚ライブラリー(兼)生涯学習センター館長・田中一郎▼文化課長(兼)文化会館長・東方嘉浩▼スポーツ課長(兼)国体準備室長(兼)B&G海洋センター所長・長谷川幸雄▼消防本部▼通信指令課長(兼)反保昭雄【県派遣職員の併任解除】銅愛(和泉診療所長)

## 課長補佐級

▼秘書政策局▼行政戦略課長補佐(兼)ブランド推進室次長・吉田克弥▼情報広報課長補佐・山田明美▼総務部▼総務課課長補佐・加藤嘉一▼財政課課長補佐・真

田正幸▼防災防犯課課長補佐・前田伸治▼市民福祉部▼くらし環境課課長補佐(市民生活・環境担当)・櫻井早苗▼くらし環境課課長補佐(衛生担当)衛生係長事務取扱・山村英幸▼福祉(こども)課課長補佐(社会福祉担当)・坂井八千代▼福祉(こども)課課長補佐(こども家庭担当)・亀井宗子▼健康長寿課課長補佐(保健医務・健康づくり担当)・尾嶋里子▼健康長寿課課長補佐(長寿・介護予防担当)横田晃弘▼春日保育園長・南居光枝▼産業経済部▼産業振興課課長補佐(兼)中心市街地活性化室次長・中村吉孝▼建設部▼湧水再生対策室次長・帰山寿章▼上水道課課長補佐・清水悦朗▼下水道課課長補佐・林広二郎▼会計課課長補佐(会計係長事務取扱)・齊藤嘉代▼教育委員会事務局▼教育総務課課長補佐(庶務・施設担当)施設係長事務取扱・山田靖子▼教育総務課課長補佐(指導担当)・土藏清治▼小山幼稚園教頭・松田ゆり子▼上庄幼稚園教頭・榊原雪江▼大野公民館長・佐々木伸治

## 消防の機構を見直し

消防ニーズの多様化に対応し、事務の効率化を図るため、消防本部・署の組織を一部改編しました

- ・通信司令室を通信指令課に改編  
警防課に所属していた通信司令室を分離し、消防無線デジタル化と情報処理の一元化を図ります
- ・予防課予防指導係に統合  
予防事務の効率化を図るため、予防課内の査察指導係と予防係を統合しました
- ・警防課警備係を救急救助係に改名  
増加する救急・救助事案に対応し係の名称を変更しました
- ・総務課に施設整備係を設置  
消防施設、設備の計画的整備や管理を行うために施設整備係を設置します
- ・和泉分遣所勤務体制の強化  
和泉地区で、平日の日中の消防力を確保するため3人から4人での勤務体制とします  
※市の機構については、4月号でお知らせしております

## 新採用

▼選挙管理委員会事務局次長・田原祐子▼消防本部▼総務課課長補佐(庶務財政担当)・藤田康司▼予防課課長補佐(予防指導担当)・仲井太▼警防課課長補佐(救急救助担当)鳥山智之▼通信指令課課長補佐・猪野則夫▼和泉分遣所所長・多田和明【県教育委員会派遣職員(併任解除)・大石貴昭

## 退職者(3月31日付)

眞柄太作・山内晶世▼健康長寿課・村中克枝▼和泉診療所・印牧千晶▼建設部▼建設課・宮前寛人▼都市計画課・久保勝哉▼消防本部▼県消防学校派遣・田中奈美紀  
園長辻久美子(上庄幼稚園教頭)斎藤博子(春日保育園指導保育士)稲郷一朗(観光振興課施設係長)禪定知子(和泉診療所)佐藤涼江(春日保育園)黒田美恵子(尚徳中学校)

## 定例市議会

# 24年度当初予算案や23年度補正予算案などを可決

第379回市議会定例会が3月5日から26日まで開かれました。169億9700万円の平成24年度一般会計予算案など46議案と、「環太平洋戦略的経済連携協定(TPP)交渉への参加反対に関する意見書」の市会案などを審議。いずれも提案どおり可決・承認・同意されました。平成24年度当初予算の内容は、4月号でお知らせしています。

### 23年度予算の補正

一般会計では、歳入・歳出で2億6279万3000円を減額。補正後の累計は、185億4606万7000円、前年度同期比3.2割の減となりました。

補正の主な内容は、▼社会福祉施設の改修に係る経費の一部補助に36万8000円▼地域ぐるみ雪下ろし支援事業に300万円▼農業体質強化基盤整備促進事業に1億300万円▼消防団安全対策設備整備事業に1148万2000円などです。

### 特別委員会を廃止

「庁舎等建設特別委員会」は、今年度から庁舎建設の実施設計に入ることから廃止されました。

### 人事案件に同意

人権擁護委員候補者の推薦について同意がなされました。人権擁護委員(敬称略) 神田泰淳(今井)、萩原勢子(泉町)、表秀信(朝日) 固定資産評価審査委員会委員の選任について同意がなされました。 固定資産評価委員(敬称略) 池端保(牛ヶ原)

## 築城430年祭記録DVD売上金を復興に

平成22年3月から平成23年2月まで実施した越前大野城築城430年祭を記録したDVDの売上金52万7000円を全額「大槌町復興支援の会」を通じて寄付しました。

大槌町復興支援の会は、イトヨの研究を通じて本市と交流のある岩手県大槌町を支援しようとイトヨの里の森誠一館長らが中心となって発足、募金活動や支援助物資の送付などの支援活動を行っています。

図 観光振興課観光企画係 ☎66・1111 内線162

